



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」48号
Issue Date	1978-05-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66725
Type	journal
File Information	yuin48.pdf





北大を去るにあたって

免疫科学研究所教授 柿 本 七 郎

まだ理学部にいた頃終戦後暫くの間アメリカ化学会誌が北大に一部しかこなかった時期があった。その頃ストレプトマイシン(抗結核剤)の化学構造に関する論文を見にいった所、その部分だけが引裂れていた。その時のショックと心のしこりは当時の世情を思っか、時間の経過のためなのか少々柔らかくなってきていたのだが、私に榆蔭の原稿を依頼にこられた方にその話をしたら、今でもそれがあるという。

私はそれを聞いて何も書きたくなくなってしまった。

私が以前に西ドイツの北部のある結核研究所に行っていた頃、さる大学の偉い先生がアメリカへの一年留学の帰路、その研究所に立寄られた。研究所の側に沼があって、そこに白鳥が棲みついていた。その先生に人前では英語を使って下さいと御願ひしてあったのだが、その白鳥を見て、よくあの白鳥は取って喰べられないな、と私の耳もとで言われた。すると案内をしてくれていた研究所の偉い人がいまなんといったのだ、とまたしつこく聞くのである。私は名通訳ではないが、あんなに困った事はなかった。しかたがないので、よく家に連れていかれないな、と翻訳をしたら、連れていっても餌に困りますと返事をしてくれたのでやれやれと思った。

3年ほど前私が又いった時その何代目かの白鳥は沼を悠悠と遊いでいた。

ケミカルアブストラクト(ケミ・アブ: C. A.) はあまり金額が張るので北大に一部だけ、中央図書館に置いたらよいという議論を耳にする。私も永年御世話になった雑誌であるが、これには二つの意味がある。一つは昔の実験事実を知るために見るのと、もう一つは現在世界でどんな仕事が行われているか、少なくとも自分の仕事に関してそれを早く知るために、即ちもっと身近な事は自分の研究を発表するときに他所で同じ事を既に発表していないかどうかを知るために、毎月来ると即座にそれを見なくてはならない。私は実験室の座右において、実験のあい間に私独自のパンチカードを作っていた。私の場合はいわゆる境界領域なので C. A. に分類されている有機化学に始まり、生化学、細菌学、薬理学、病理学にいたるまで広く見なければならなかったもので、いつもその作業に追われていた。研究所長になり丁度学生運動の烈しい時にぶつかったりして、C. A. は私の机上に溜る様になってしまい、とうとう停年近くなって追付けなくなってしまった。

先般個室を片付け始めたのだが、そのカード箱が気になるのである。

北大には、殊にその初期に於いては、実に立派な先輩がいる。私はそのまね事さえし得ないで北大を去る事を恥じ入っている。

◆ 会 議

第89回 図書館委員会

<と き 昭和53年2月25日(土)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 昭和54年度概算要求事項について
2. そ の 他

第90回 図書館委員会

<と き 昭和53年4月22日(土)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 昭和54年度概算要求事項について
2. 閲覧個室について
3. そ の 他

第56回 教養分館委員会

<と き 昭和53年1月26日(木)>

<ところ 教養分館長室>

1. ビデオ視聴室の利用について
2. そ の 他

全学図書(担当)掛長連絡会議

<と き 昭和52年12月14日(水)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 外国雑誌の購入について
2. そ の 他

全学図書(担当)掛長連絡会議

<と き 昭和53年2月14日(火)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 外国雑誌購入関係業務予定
2. 報告事項
3. そ の 他

講演会の開催

本館の年中行事の一つである図書館職員を対象とする講演会を今年も下記により開催された。

と き 昭和53年2月21日(火)

ところ 附属図書館教養分館

講 師

1. 北海学園大学長 高倉新一郎
演 題 「北大図書館の歴史」
2. 北海学園大学教授 木田橋喜代慎
演 題 「ある経済学者の図書館感」



講演会場

高倉先生は、昭和30年から2年間北大図書館長を務められる等、本館のために尽力された方で、戦中戦後の困難な時期の図書館運営など、約2時間に亘ってお話しをされたが、当時を知る人は懐かしく、初めて聞く人には興味深く、参加者皆熱心に聞き入っていた。

また、木田橋先生は、経済学者から見た図書館、貴重な経験に基づく図書館研究など先生独得の話術を駆使され参加者を最後まで引きつけていたのが印象的であった。

視聴覚資料に関する研修会

教養分館では、増築を契機に基本教育機器導入の企画検討を進めていたが、前号で紹介したように VTR が設置されるなど着々と整備が進んでいる。この計画を発展充実するためこれら機器を活用しようとする利用者を対象として下記により研修会を開催した。

記

と き 昭和53年3月9日(木)

ところ 附属図書館教養分館

講 師 日本テレシネ・サービス・コンサルタント 多 田 三 郎

「VTR 基本操作、利用の仕方」

講 師 NHK 北海道本部放送制作課副課長 勅使河原 平 八

「教育放送番組の作り方」

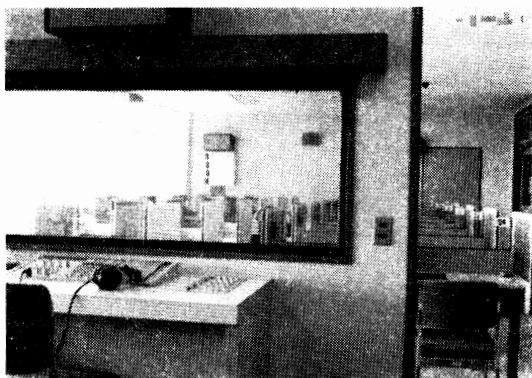
この研修は、午後1時から約4時間に亘って行なわれたが終始活発な質疑があり、その成果を挙げる事が出来た。

教養分館の整備に伴う語学演習装置(LL)が設置される

かねてから多くの利用者から教養語学演習授業(カリキュラム)の自学自習等のため語学演習装置の設置がのぞまれていたが、教養分館の視聴覚設備計画の一環としてこのたび設置された。

機器の概要及び特長

- 1) マスターテープ(オープン・カセット)4本(例えば英, 独, 仏, 中国等)が一度に全ブース(24)席にプログラムを送り出すことができ、各学生が希望する語学を押ボタンを押すだけで選択して聞ける。
- 2) 教官の指導によりあるプログラムを全生徒に強制的に流すことができる。
- 3) 模範となる生徒の声を他の生徒に聞かせることができる。
- 4) 個別学習, 比較演習はもとより学生同志で会話しお互いに誤りや欠点を指摘しあえる。この様な学習は最大6グループ(各グループ4名)同時に又は別々にセレクターにより組合せが出来る。
- 5) ブーステープコードのボタン(Repeat)を押すと確実にセンテンスの初めまで自動的に巻戻し何回でも繰返し納得がゆくまで学習できる。



教養分館語学演習室

機器は下記のとおりである。

メーカ	SONY L. L. System
ブース部	
ブースデスク	BA-201 A (2連式) (12席)
ブースカセットコーダー	ER-88 (24台)
ヘッドセット	HS-85 (24個)
調整部	
マスターテープコーダー	TC-707 SD-R (2台)
カセットマスターテープレコーダー	ER-7 CM (2台)
グループカンバーゼーションシステムユニット	GCU-9000 A
コントロールコンソール	LLC-8
リモートコントロールユニット	RM-1010 (4台)
	RM-1020 (1台)
プログラムエディター	PME-100 (2台)
	PME-1000 (2台)

利用方法

語学テープは開架図書閲覧室 (2F) に配架されており利用については、身分証明書、学生証をカウンターへ提示して利用する。
(教養分館)

視聴覚資料目録 (ビデオ資料) 2

題 名 (作品名)	時間 (分)	監 修 等
(医学, 保健関係)		
中国の驚異 一ハリ麻酔—	60	
不安と憂うつ	30	慶応大精神科 保崎秀夫
狭心症	30	札幌医大内科 宮原光夫
オーストリアスキー学校	24	
思春期の危機	30	大阪大精神神経科 辻 悟
消化吸収の最近の知覚	30	札幌医大内科 和田武雄
わたしたちのからだ	21	北大医学部, 札幌医大 (北海道医師会)
人体の構造と働き	25	同 上
感覚のしくみ	18	同 上
運動のしくみ	18	同 上
呼吸のしくみ	17	同 上
消化のしくみ	18	同 上
循環系	17	同 上
内分泌系	19	同 上
中枢神経系	20	同 上
胃の健康診断	13	同 上
きとえと難聴	14	同 上
子供と視力	15	同 上
空気と健康	14	同 上
腎臓	25	同 上
酸素吸入	30	国立東京第二病院 山崎陽之介

題 名 (作品名)	時間 (分)	監 修, 等
新生児の観察 全2巻	各20	国立小児病院 奥山和男
保育器と看護 全2巻	各20	同 上
穿 刺 全2巻	各20	国立横浜病院 藤沢俊雄
歯のみがき方	30	指 導 川崎 仁
こどもの歯 ～甘味の害～	15	指 導 落合靖一
妊 娠 と 歯	15	指 導 宮入秀夫
歯周疾患の治療と予防のための基本的な考え方	30	北大歯学部 石川 純
歯科X線撮影法	23	九州歯科大学 佐藤信正
歯科臨床における緊急時の処置法	25	東京医科歯科大学 久保田康耶
子 供 の 歯	10	日本大学歯学部 深田英郎
歯ブラシの上手な使い方	10	北大歯学部 石川 純
歯とたべもの	10	愛知学院大学 榊原悠紀田郎
オーラルハイジーンへの道 ～ブラーク感熟と病原性～	32	北大歯学部 片山 剛・鈴木 武
家 族 計 画 育児保健指導 1	25	東芝中央病院 森山 豊
無 痛 分 娩 //	2	25 同 上
幼児の発育 //	6	20 愛育病院 内藤寿七郎
幼児の生活 //	7	20 同 上
幼児の社会性 //	8	20 同 上
幼児の事故 //	9	20 同 上
幼児の病気 //	10	20 同 上
(語学関係)		
Portrait d'un Village-Entrechaux	13	発行所 Mary Glasgow/VK
Dax	13	同 上
De Jeuner Sur la Loine	15	同 上
Les Rochers de Roscoff	15	同 上
Fête à Coutances	13	同 上

資料紹介

昭和52年度特別図書購入費で購入した図書

四庫全書珍本 第二～第七集、別輯

「四庫全書」は清の乾隆帝が1772(乾隆37)年より10年間を費して当時集められる限りの中国古今の重要文献3,460種79,339巻を経・史・子・集の4部門に分類編集した大叢書である。7部副本が作られたが、清末の戦乱で欠失散佚したり海外に流出したものもある。民国になって北京故宮内の文淵閣所蔵本の中から特に貴重なものを選んで写真版で出版する計画が立てられ、政府の援助で既に戦時下にもかかわらず「四庫全書珍本・初集」(231種約2,000冊)が刊行され(民国24—1935年)、本学図書館にも既に収蔵されている。

今回購入分は、のそ後を承け戦後台湾で続刊されたもので、1365種を含み中国のあらゆる

分野に亘る典籍を含む。特に宋元明人の文集等これによって始めて見得る書物が多い。今回分までで四庫全書全体の約4割に達する。なお「別輯」は四庫全書編纂時に永樂大典から採集した佚書を収めたものである。

証 券 経 済 資 料

明治11年(1878年)に設立された東京証券取引所が、昭和18年に日本証券取引所として改組され、終戦によって閉鎖されるまで60年間の、東京証券取引所の主要刊行物を網羅したものである。近代日本経済研究における証券市場分析はなおも未開拓の分野に属するが、本資料はこの分野における基本資料であり、たんに経済史研究にとどまらず、日本経済論、他国との比較研究等からも不可欠の資料といえる。

〔証券経済資料〕収録明細

東京株式取引所月表	(明治19年1月～大正13年12月)
東京株式取引所統計月報 第1～153号	(昭和5年9月～昭和18年5月)
日本証券取引所統計月報 第1～19号	(昭和18年6月～昭和19年11月)
東京株式取引所調査彙報 第1～187号	(大正15年1月～昭和18年5月)
日本証券取引所調査月報 第1～9号	(昭和18年6月～昭和19年2月)
東京株式取引所沿革及統計	(明治11年～昭和40年)
東京株式取引所史	(明治11年～大正4年)
東京株式取引所五十年史	(明治11年～昭和2年)
東京株式取引所史 第2～3巻	(昭和3年～昭和12年)
東京株式取引所営業報告書 第1～31回	(明治11年～昭和26年)
東京株式取引所営業報告書 改正第1～100回	(明治26年10月～昭和18年5月)

帝政ロシア統計年鑑集成

帝政ロシア統計資料集成には、①ロシア帝国統計時報(1866-1890年)、②ロシア内務省中央統計委員会時報(1888-1903年)、③ロシア帝国統計(1887-1918年)、④ロシア統計年鑑(1904-1918年)という、資本主義時代のロシアの四つの重要な統計が含まれている。

この統計資料集成によって、19世紀後半から20世紀初頭のロシアにおける工場、銀行、農業、地価、人口、国際貿易、国家財政とゼムストヴォ財政などロシアの経済と政治にかんするあらゆる基本統計、資料を入手することができる。また、19世紀末の大学および中等学校の基本調査と20世紀初頭の初等教育調査によって、さらに、年鑑によってこの時期の国民教育にかんする基本的基礎的実態を解明することができる。

本学におけるこれら貴重な統計資料の所蔵によって、学部をこえて、ロシア関係の研究の発展が期待される。

The Accountant Vol. 21-30 (1895-1904)

欧米の会計学雑誌には数多くのものがあるがその中でもこの雑誌は最も権威ある世界最古の雑誌として知られている。

今日の雑誌と異なり、当時の会計学雑誌は会計処理の係争事件も多く記述されている為、当時の会計実務の混乱及びそれを批判する基準としての当時の会計学一般理論を探るには絶好の文献となっている。

今回の購入により、経済学部が所蔵する1~20, 31~40巻とあわせ、1900年前後のイギリス会計学を研究する上で貴重な資料が得られたことになる。

Annuaire de L'Institut du Droit International.

Vol. 1-54. with 2 vols. 1873-1973

1873年発足以来ほぼ1年おきに開かれてきた国際法学会の本会議において採択された、国際公法・私法に関する140余に及ぶ決議、並びにそれに至る報告・審議をその会期毎にまとめて刊行しているものである。国際法学会自体は純粋に学問的協会であり、何らの公的性格をもつものとはいえないが、100年余にわたるその活動の権威は世界各国で夙に認められているところであり、1905年には学会自体がノーベル平和賞を受けたことからでも、その評価の高いことが推知されるであろう。その非常に広い範囲に亘る学問上・実務上有用な業績を、ここで本学においても一堂に利用できるようになったことは、今後の国際問題の研究の発展に大いに寄与するものと期待される。

Statistik des Deutschen Reichs. Neue Folge. Bd. 96-170, 550-557 (1898-1907, 1939-1943).

ドイツの第2帝政時代の全国統計書で、ドイツ統計年報、“Statistisches Jahrbuch des Deutschen Reichs”を整理、増補しテーマ、項目別に2~3年分をそれぞれの巻に収録している、ドイツに関する最も基本的統計の1つであり、統計年報よりはるかに詳細な統計が収録されている、従ってドイツ経済研究者には不可欠の資料である。刊行予定601Bdeの内、既刊分1~260, 550~557Bdeはすべて図書館、経済学部で分担して収集されている。

◆ 受 贈 図 書

本学教官の著作物

〔本 館〕

○文 学 部

- | | |
|-----------|---|
| 井 上 泰 男 | 西欧社会と市民の起源 (世界史研究双書 21) [近藤出版社] |
| 佐 伯 有 清 | 広開土王碑と参謀本部 [吉川弘文館] |
| 田 中 彰 | 岩倉使節団 (講談社現代新書) [講談社] |
| 田中 彰 (校注) | 米欧回覧実記 (一) 特命全権大使 久米邦武編 (岩波文庫)
[岩波書店] |
| 中村健之介 (訳) | ドストエフスキーの蔵書 (陀思妥夫斯基 No. 24)
[日本ドストエフスキー協会資料センター] |

○教育学部

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 三 宅 和 夫 | 児童発達心理学 増補 [川島書店] |
| 三 宅 和 夫 | 改訂 児童心理学 (宮本実共編) [川島書店] |
| 三 宅 和 夫 | 乳幼児の発達と精神衛生 (諏訪望共編) [川島書店] |
| 三宅和夫 (共編) | 心理学 5 発達 (有斐閣双書) [有斐閣] |
| 三 宅 和 夫 | 幼児心理学 (現代心理学叢書 5) [共立出版] |
| 三 宅 和 夫 (訳) | 発達心理学 I, II — マッセン コンガー ケイガン著 [誠信書房] |

○法 学 部

- 五十嵐清(共著) 口述債権総論 一公開民法講義(有斐閣選書51)〔有斐閣〕
 五十嵐清 比較民法学の諸問題〔一粒社〕
 今村成和 私的独占禁止法の研究(四)-I, II〔有斐閣〕
 実方謙二 独占禁止法と現代経済〔成文堂〕
 曾野和明 多国籍企業問題入門 一既存社会科学秩序への挑戦一
 (法学入門講座)〔青林書院新社〕
 丹宗昭信 独占および寡占市場構造規制の法理〔北大図書刊行会〕
 矢田俊隆 ハプスブルグ帝国史研究〔岩波書店〕
 矢田俊隆(共編) 世界各国史13 東欧史(新版)〔山川出版社〕

○経済学部

- 森 杲 アメリカ資本主義史論〔ミネルヴァ〕

○医 学 部

- 小林 博 医学生のための腫瘍学〔南山堂〕

○工 学 部

- 横道英雄 句集銀杏並木 横道秀川著〔水明発行所〕

○低温科学研究所

- 田畑忠司 流水(北海道の自然7)〔北海道新聞社〕
 小林禎作 雪(北海道の自然4)〔北海道新聞社〕

○応用電気研究所

- 達崎 達(共著) An Introduction to the Physics of Ferroelectrics, Volume 1
 [Gordon & Breach Science Pub.]

◇ 人 事 往 来 ◇

新図書館委員

- 山崎真秀(教育学部助教授) 53. 4. 1
 中村睦男(法学部教授) 〃
 原田悦守(獣医学部助教授) 〃

昇 任

- 矢部一郎 事務部長(広島大学附属図書館整理課長) 53. 4. 1
 若月修 閲覧課長(文部省大臣官房調査統計課国内第三調査係長) 〃

配 置 換

- 横山梅雄 整理課長(閲覧課長) 53. 4. 1
 野地俊郎 整理課総務掛長(応用電気研究所会計掛長) 〃
 千葉哲夫 工学部経理課用度掛長(整理課総務掛長) 〃
 達 昭二 整理課整理掛長(農学部図書掛長) 〃
 平田忠夫 閲覧課第一運用掛長(整理課整理掛長) 〃
 坪田充弘 教養分館閲覧掛長(閲覧課第一運用掛長) 〃
 岡崎きみ子 教養分館整理掛(整理課総務掛) 〃
 金子 和 恵 整理課学術情報資料掛(応用電気研究所会計掛図書室) 53. 5. 1
 伊藤秀治 閲覧課第一運用掛(工学部図書掛) 〃
 山下洋一 医学部図書整理掛(閲覧課第一運用掛) 〃

村井光子	閲覧課第一運用掛 (農学部図書掛)	53. 5. 1
杓掛裕子	農学部図書掛 (閲覧課第一運用掛)	〃
東重俊	閲覧課第二運用掛 (教養分館閲覧掛)	〃
大家克己	理学部図書掛 (閲覧課第二運用掛)	〃

課内異動

池内斐子	整理課教養分館閲覧掛 (学術情報資料掛)	53. 5. 1
------	----------------------	----------

53. 5. 1 付教養分館は整理課となったことによる。

館内異動

船木敏美	整理課教養分館整理掛長
木下彰	整理課教養分館整理掛
桑野勇次	〃
岡崎きみ子	〃
坪田充弘	整理課教養分館閲覧掛長
酒谷和子	整理課教養分館閲覧掛
川辺良夫	〃

転出

坂東慧	国立民族学博物館情報管理施設技術室長 (整理課長)	53. 4. 1
-----	---------------------------	----------

辞職

齐木一郎	事務部長	53. 4. 1
佐藤唯男	閲覧課参考掛	〃

北海道大学附属図書館報 「楡蔭」 (通巻48号)

1978年5月20日発行 発行人 矢部一郎

編集委員 横山梅雄(長)・若月修・笹哲夫・似鳥正吾・野地俊郎・高橋裕・田中一郎
 遠昭二・平田忠夫・堅田政孝・山本幾夫・船木敏美・坪田充弘

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北8条西5丁目 電話代表 711-2111 (2967)

印刷所 文栄堂印刷所 札幌市中央区北3条東7丁目 電話代表 231-5560-5561